

特別セミナー

<2018 年度通訳案内士試験に無料独学合格する方法>

(2018 年 5 月 20 日)

ハロー通訳アカデミー
植山源一郎

【1】平成 30 年度全国通訳案内士試験公示(官報)

https://e9.wingmailer.com/wingmailer/cr.cgi?id=E741&c_no=3

【2】通訳案内士試験ガイドライン

- ・平成 30 年度通訳案内士試験ガイドライン

https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/interpreter_guide_exams/guide_line30.pdf

- ・通訳案内士試験ガイドライン新旧対照表

http://e9.wingmailer.com/wingmailer/cr.cgi?id=E741&c_no=1

【3】第1次筆記試験の概要

(1) 試験実施日程、試験時間: 8月19日(日)

外国語: 10:00~12:00(120分)

通訳案内の実務: 13:30~13:50(20分)

日本地理: 14:20~15:00(40分)

日本歴史: 15:30~16:10(40分)

一般常識: 16:40~17:00(20分)

(2) 試験方法、問題数、配点、合格基準点

外国語: 100 点満点、70点(70%)が合格基準点

通訳案内の実務: マークシート方式、**20問程度、50 点満点、30点(60%)**が合格基準点

日本地理: マークシート方式、40問程度、100 点満点、70点(70%)が合格基準点

日本歴史: マークシート方式、40問程度、100 点満点、70点(70%)が合格基準点

一般常識: マークシート方式、**20問程度、50 点満点、30点(60%)**が合格基準点

(3) 外国語筆記試験の試験方法

- ・試験は、全国通訳案内士の業務を適切に行うために必要な読解力、日本文化等についての説明力、語彙力等の総合的な外国語の能力を問うものとする。
- ・出題は概ね、外国語文の①読解問題2題(配点 25 点程度)、②外国語文和訳問題1題(15 点程度)、③和文外国語訳問題1題(30 点程度)、④外国語による説明(あるテーマ、用語等について外国語で説明する)問題1題(30 点程度)を基準とする。
- ・言語によっては、完全な多肢選択式(マークシート方式)または、多肢選択式及び記述式の組み合わせによる出題とする。後者の場合、和文外国語訳問題1題、外国語による説明問題1題は記述式により出題するものとする。

【4】既出問題の確認

「敵を知り 己を知れば 百戦殆うからず」は、勝利の鉄則です！

(1) 第1次筆記試験【問題】(外国語・日本地理・日本歴史・一般常識)

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/711462afa4fdc4cd349cf4ad68891db8>

<1998年度～2017年度>の問題を掲載。

(2) 第1次筆記試験【解答】(日本地理・日本歴史・一般常識)

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/97689381c7d03679e1d26349dd5d28a0>

<2004年度～2017年度>の解答を掲載。

(3) 第1次英語筆記試験【解答】

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/9a71c5008dafaed9cff97da6b31badb1>

<2015年度～2017年度>の解答を掲載。

【5】合格体験記

受験勉強というものは、最初から最後まですべてが順調にいくものとは限りません、むしろ、段階的に、必ず「壁」に突き当たり、階段の踊り場(停滞期)を経験するものです。

そのような時に、最高のアドバイスを与えてくれるものが、「合格体験記」です。

同じような「壁」に突き当たり、その壁を乗り越えて合格した先輩たちの経験は、空に瞬く「導きの星」のように、あなたに<合格への道>を示してくれることでしょう。

●2017年度合格体験記

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/15e28f93d37c0b25e1252138afadf105>

【6】第1次英語筆記試験対策

(1) 教本学習コース(無料動画学習コーナー)

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/294759276c43d1f31a7b1a2bc4b19ad0>

<教本Aシリーズ>(32時間)と<教本Bシリーズ>(32時間)の合計64時間の第1次英語筆記試験対策の最も基本となる学習コースです。

五文型に文法解析することにより、難解な英文でも正しく解釈できるようになります。

この手法は、通訳案内士試験のみならず、英検1級、TOEIC、ビジネス英語の分野でもその威力を発揮しますので、「本物の英語力」をつけたい方は是非学習してください。

(2) 教本学習コース(無料音声学習コーナー)

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/db5f01d842bc6fc0a27f926335500449>

教本学習コースの<音声ファイル>版です。<音声ファイル>をスマホ、タブレットなどに入れておけば、電車の中、待合せ時間などの細切れ時間にも聴くことができるので、便利です。

(3) 英語力診断テスト

<http://www.hello.ac/guide/clinic/index.php>

ここでは、下記の5つの分野のあなたの英語力を診断いたします。

- (1) 語彙力(配点:40点)
- (2) 英文和訳(配点:20点)
- (3) 和文英訳(配点:20点)
- (4) 英文読解(配点:10点)
- (5) 英作文(配点:10点) (満点:100点)

毎回異なる問題がアットランダムに出題されるように、規定数の10倍の問題(計500問)が用意されています。数回トライすると同じ問題が出題されるようになりますが、これも大いに勉強になりますので何度でもトライしてください。

解答後、試験結果通知メールが、自動的にご指定のメールアドレスに送信されます。

(4) ハロー英語道場

<http://www.hello.ac/study/>

ここは、合格に必要な英語力をクイズ形式で学習していただくコーナーです。

● 第一道場『日本の事象英文説明 300 選』【初級コース】【上級コース】

通訳案内士試験第1次筆記試験、第2次口述試験で問われる日本の事象英文説明を目次の12のジャンルに分けて、学習できるようにアレンジされています。

2017年には、第1次筆記試験5番に「祇園祭」「時代祭」「葵祭」「おでん」「すきやき」「しゃぶしゃぶ」「ちゃんこ鍋」「能」「雅楽」「狂言」「歌舞伎」「文楽」の計12項目が、第2次口述試験に「交番」(P.112)「たこ焼き」(P.38)「絵馬」(P.76)「神道」(P.70)「回転寿司」(P.28)「門松」(P.80)「大相撲」(P.64)「千羽鶴」(P.58)「お刺身」(P.28)「お歳暮」(P.94)「風呂敷」(P.58)「おせち料理」(P.28)「鯉のぼり」(P.86)の計13項目、合計25項目が出題されました。

口頭でスラスラ出てくるまで、徹底的に丸暗記することが重要です。

本道場には、キーワード一語を問う「初級コース」と全英文を問う「上級コース」の2コースをご用意いたしておりますので、勉強の進捗状況により使い分けてください。

● 第二道場『でる単その1』(2,333語)

第1次筆記試験に出題されたことがあり、絶対に覚えておかななくてはならない重要英単語を厳選収録しました。

● 第三道場『でる単その2』(432語)

第1次筆記試験に出題が予想される通訳ガイド用語を23のジャンルに分けて厳選収録しました。

● 第四道場『基本イディオム』(225語)

第1次筆記試験に出題が予想される基本イディオムを厳選収録しました。下線部訳あるいは穴埋め問題などに出題される可能性が高いです。

●第五道場『時事用語・ガイド用語』(520 語)

第1次筆記試験に出題が予想される時事用語・通訳ガイド用語を厳選収録しました。

●第六道場『基本英単語集』(1,377 語)

第1次筆記試験に出題が予想される基本英単語を難易度別に収録しました。

収録語数は、レベルⅠ(554語)、レベルⅡ(595語)、レベルⅢ(228語)です。

レベルⅠ→レベルⅡ→レベルⅢの順番に、段階的に学習してください。

●第七道場『無敵の英単語』(826 語)

最近出題された英文、英単語を徹底的に分析して、今後出題が予想される比較的高度な英単語を各方面から厳選収録しました。『千里の道も一歩から』です。根気強く繰り返すことで『無敵の英単語力』を身につけることができます。

●第八道場『英検1級合格の英単語』(他流試合)(552 語)

英検1級合格に必要な重要英単語を厳選収録しました。通訳案内士試験をめざす《ハロー英語道場》では『他流試合』となりますが、お時間のある時にお楽しみください。

【7】第1次邦文筆記試験対策(日本地理・日本歴史・一般常識)

(1) マラソンセミナー(無料動画学習コーナー)

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/294759276c43d1f31a7b1a2bc4b19ad0>

マラソンセミナーは、近年の出題傾向に基づき、＜日本地理＞＜日本歴史＞＜一般常識＞を基礎から体系的に学習することを目的に実施されたセミナーで、その分かりやすいテキストと動画は、受験者の高い評価を得ております。

＜日本地理＞＜日本歴史＞＜一般常識＞各 24 時間、合計 72 時間分の動画があります。

(2) マラソンセミナー(無料音声ファイル学習コーナー)

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/9393bb54df6b150ae6b6395b77382784>

マラソンセミナーの＜音声ファイル＞版です。＜音声ファイル＞をスマホ、タブレットなどに入れておけば、電車の中、待合せ時間などの細切れ時間にも聴くことができるので便利です。

(3) 第1次邦文試験対策＜日本地理・日本歴史・一般常識＞特訓 1800 題

http://www.hello.ac/streaming/clinic/clinic_houbun/index.html

ここは、皆さんがご自身で＜日本地理＞＜日本歴史＞＜一般常識＞合格に必要な知識を診断、整理、学習していただくコーナーです。

●解答後、試験結果をご指定のメールアドレスに送信いたします。

●本テストの構成は下記のようになっています。

(1) 日本地理(5点×20題=100点)

(2) 日本歴史(5点×20題=100点)

(3) 産業、経済、政治及び文化に関する一般常識(5点×20題=100点)

(満点:5点×60題=300点)

- 各科目とも約 600 題(3 科目合計 約 1800 題)の問題が用意されており、**毎回異なる問題がアットランダムに出題されます。**
- 数回トライすると、一部同じ問題が出題されるようになりますが、これも大いに勉強になりますので何度でもトライしてください。
- 試験結果通知メールには下記内容が記載されています。
 - (1)各科目の得点、3科目の合計得点
 - (2)各科目の合格判定
 - (3)3科目の総合合格判定
 - (4)受験した問題文、あなたの解答、正解、正誤判定
- 合格、不合格の判定基準は次の通りです。
 - 合格:3 科目とも 50 点以上の場合
 - 不合格:1 科目でも 50 点未満の場合

(4)2017 年度第 1 次邦文試験対策 直前対策<Youtube セミナー>

これは、2017 年度対策のセミナーですが、現時点では、最新の動画、資料ですので、どうぞ、ご利用ください。2018 年度対策のセミナーの実施は未定です。

<日本地理>

- ・動画

<https://youtu.be/QvMZlzWQUtI>

- ・資料

<http://www.hello.ac/2017.geo.seminar.pdf>

- ・「項目別地図帳」

<http://hello.ac/geography/map.pdf>

- ・「都道府県別地図帳」

<http://hello.ac/map.prefectures.pdf>

<日本歴史>

- ・動画

<https://youtu.be/OXFw-cWsb8k>

- ・資料

<http://www.hello.ac/2017.his.seminar.pdf>

- ・「日本史の時代区分と各文化の特徴」

<http://hello.ac/timeline.pdf>

<一般常識>

- ・動画

<https://youtu.be/6fOkb2JoP9M>

- ・資料

<http://www.hello.ac/2017.ippan.seminar.pdf>

【8】第2次英語口述試験対策

＜特訓セミナー＞【動画】【音声ファイル】

<https://blog.goo.ne.jp/gu6970/e/20d3293874c2107664d6a9ed22eae8f2>

第2次口述試験は、＜通訳問題＞と＜プレゼンテーション問題＞により実施されますが、いずれにしても、**日本的事象(日本に関することがら)**について**外国語で話す(説明する)能力が問われる試験**です。

個々の日本的事象の簡単な説明については、「**日本的事象英文説明 300 選**」でカバーできるとしても、**実践的な表現能力が求められる試験の場では、「300 選」をベースにした＜臨機応変な説明方法＞**が求められます。

本＜特訓セミナー＞は、そのような**＜臨機応変な説明方法＞**を学ぶためのセミナーです。本セミナーを何回も繰り返し視聴することにより、合格できるリスニング力と表現力を習得してください。

●目的

第2次口述試験(英語)に出題される**日本的事象(日本に関することがら)**について、**＜臨機応変な説明方法＞**を学ぶこと。

●内容

外国人講師と生徒の質疑応答を通して、外国人講師が、的確な英語で表現できるコツを教えます。

●構成

＜特訓セミナー＞は、(その 1)(その 2)(その 3)があり、(その 1)(その 2)は各 11 講座(2 時間×11=22 時間)、(その 3)は 9 講座(2 時間×9=18 時間)の全 31 講座、62 時間の構成となっています。

●動画と音声ファイル

(その 1)は動画と音声ファイルを、(その 2)(その 3)は音声ファイルのみを、下記により視聴することができます。

●受講方法

必ず、テキストを印刷して学習してください。

●効果的な学習法

本セミナーを何回も繰り返し、繰り返し視聴することにより、リスニング力と表現力を習得することができます。インプットされてないものは、決して、アウトプットされません。まずは、徹底的にインプット(聴きこみ)してください。

【9】第1次筆記試験・第2次口述試験対策

Flashcards Deluxe(暗記カードアプリ)

<http://blog.goo.ne.jp/gu6970/c/8241111d973c4517667a7e470e4ed105>

＜Flashcards Deluxe＞は、いわゆる単語帳などの電子版である暗記カード(フラッシュカード)アプリなのですが、もともとは、作者である米国人 Ernest Thomason 氏が、自分で中国語を独習するために作成したものです。

他の多くの暗記カードアプリとの違いは、タップ・スワイプを駆使した自然な操作で、扱えるカード枚数(デッキごとに 5000 枚超!)、画像、音声のカードへの組み込み、豊富な学習モード、

詳細な設定項目、等々にあります。

＜Flashcards Deluxe＞は、スマホがあれば、すき間時間を利用して、いつでも、どこでもゲーム感覚で学習できる＜ありえへんアプリ＞で、これほど便利なツールはありません！

現在、第1次筆記試験、第2次口述試験対策として、下記の25個のデッキを利用することが可能です。

＜Flashcards Deluxe＞を使い倒して、合格を手になしてください。

●＜第1次英語筆記試験＞対策

「日本の事象英文説明 300 選」(300)

「既出英単語」(241)

「でる単その1」(2382)

「でる単その2」(429)

「通訳ガイド用語のまとめ」(308)

「基本イディオム」(225)

「基本英単語集」(1377)

「時事用語、通訳ガイド用語」(395)

「単語英訳問題」(300)

「単語英訳問題・英単語」(315)

「単語英訳問題・厳選英単語」(435)

「無敵の英単語」(826)

「英検1級合格の英単語」(546)

●＜日本地理＞対策

「特訓 1800 題(日本地理)」(572)

「日本地理(重要事項のまとめ)」(389)

「日本地理(総まとめ)」(431)

●＜日本歴史＞対策

「特訓 1800 題(日本歴史)」(527)

「日本歴史(重要事項のまとめ)」(125)

「日本歴史(総まとめ)」(431)

「日本歴史にでる写真」(157)

「日本歴史(文化史)」(349)

●＜一般常識＞対策

「特訓 1800 題(一般常識)」(346)

「一般常識(重要事項のまとめ)」(148)

「一般常識(総まとめ)」(446)

●＜第2次口述試験＞対策

「日本の事象英文説明 300 選」(300)

「第2次口述試験対策演習」(26)

【10】平成 30 年度一般常識筆記試験に出題される平成 29 年版『観光白書』

平成 30 年度(2018 年度)の通訳案内士試験ガイドラインの<V>では、一般常識筆記試験について、下記のように、「例えば、試験実施年度の前年度に発行された「観光白書」のうち、外国人観光旅客の誘客 に効果的な主要施策及び旅行者の安全・安心 確保に必要な知識」から出題されることが明記されています。

なので、受験生は、下記の 平成 29 年版『観光白書』を印刷して準備をしておかなくてはなりません。

ガイドライン<V>一般常識筆記試験について

(1) 試験方法

- ・試験は、現代の日本の産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄(日本と世界との関わりを含む。)のうち、外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識(例えば、試験実施年度の前年度に発行された「観光白書」のうち、外国人観光旅客の誘客に効果的な主要施策及び旅行者の安全・安心確保に必要な知識、並びに新聞(一般紙)の 1 面等で大きく取り上げられた時事問題等)を問うものとする。
- ・試験の方式は、多肢選択式(マークシート方式)とする。
- ・試験時間は 20 分とする。
- ・試験の満点は、50 点とする。
- ・問題の数は、20 問程度とする。

(2) 合否判定

- ・合否判定は、原則として 30 点を合格基準点として行う。
- ・実際の平均点が、合格基準点から著しく乖離した科目については、I (4)において記載した合格基準の事後的な調整を行うこともある点に留意すること。

平成 29 年版『観光白書』(印刷用)

・概要

<http://www.mlit.go.jp/common/001187257.pdf>

・目次

<http://www.mlit.go.jp/common/001211872.pdf>

・本文(第 I 部 観光の動向)

<http://www.mlit.go.jp/common/001211873.pdf>

・本文(第 II 部 持続可能な賑わいを有する観光地づくりに向けて)

<http://www.mlit.go.jp/common/001211874.pdf>

・本文(第 III 部 平成 28 年度に講じた施策)

<http://www.mlit.go.jp/common/001211875.pdf>

・本文(第 IV 部 平成 29 年度に講じようとする施策)

<http://www.mlit.go.jp/common/001211876.pdf>

・資料編

<http://www.mlit.go.jp/common/001211877.pdf3>

【11】「通訳案内の実務」に出題される観光庁<研修テキスト>

https://e9.wingmailer.com/wingmailer/cr.cgi?id=E741&c_no=2

平成 30 年度から新たに実施されるようになった「通訳案内の実務」ですが、**観光庁<研修テキスト>**から出題されます。

(1) 試験方法

- ・試験は、**通訳案内の現場において求められる基礎的な知識(例えば、旅行業法や通訳案内士法等の業務と密接に関係する法令に関する基本的な内容や実際に通訳案内業務に就くにあたっての訪日外国人旅行者の旅程の管理に関する基礎的な内容等)**を問うものとする。
- ・本科目については、原則として、**観光庁研修のテキスト**を試験範囲とする。
- ・試験の方式は、**多肢選択式(マークシート方式)**とする。
- ・試験時間は **20 分**とする。
- ・試験の満点は、**50 点**とする。
- ・問題の数は、**20 問程度**とする。

(2) 合否判定

- ・合否判定は、原則として **30 点**を合格基準点として行う。
- ・実際の平均点が、合格基準点から著しく乖離した科目については、I (4)において記載した合格基準の事後的な調整を行うこともある点に留意すること。

【12】「通訳案内の実務」予想問題

● 予想問題(1)

2017 年に我が国を訪れた外国人旅行者は、史上初めて(**2,000 万人**)を超えた 2016 年を上回る(**2,869.1 万人**)となるとともに、その旅行消費額も過去最高を更新して(**4 兆 4,161 億円**)となる等、インバウンドの勢いは加速しており、観光は我が国の経済を支える産業へと成長しつつあります。

現在、政府は、2020 年に訪日外国人旅行者数(**4,000 万人**)、訪日外国人旅行消費額(**8 兆円**)等の新たな目標とその目標達成に向けた各種施策を盛り込んだ(「**明日の日本を支える観光ビジョン**」)の目標達成に向け、具体化された様々な施策取り組んでおります。また、近年の訪日外国人旅行者の動向を見ると、大きな変化が訪れていることがわかります。まずは、団体旅行から(**個人旅行**)への移行。

2012 年には全体の(**6 割**)だった個人旅行は、中国を中心に旅行の個人化が進んだことで、2017 年の直近のデータでは、個人旅行は全体の(**4 分の 3 以上**)となっています。さらに、モノ消費から(**コト消費**)への移行が進み、(**地方部**)への訪問も多くなるなど、我が国の豊かな自然や文化、我々の生活に直接、深く触れたいというニーズが高まっています。

●予想問題(2)

我が国においては、これまで、通訳案内士が、訪日外国人旅行者の(「言葉の壁」)を解消するとともに、快適かつ有意義な滞在を支援することにより、訪日外国人旅行者に対する満足度の高い旅行の提供に貢献してきました。

一方で、(通訳案内士制度)は、創設以来 60 年以上が経過し、訪日外国人旅行者の急増・ニーズの多様化に伴って、通訳案内士の絶対数の不足に加え、大都市部への偏在・資格取得者の言語の英語への偏りが指摘されてきました。

このような環境の中、(平成 30 年 1 月 4 日)、通訳案内士法を改正し、大きな見直しを図りました。本改正では、(業務独占規制)が撤廃され、(有償)の通訳案内業務への参入が自由になるとともに、通訳案内士の名称は(「全国通訳案内士」)と変更され、試験に合格して登録された方のみが付与される資格として改めて位置づけられることとなりました。

●予想問題(3)

また、今回の改正により、全国通訳案内士試験の筆記試験において、新たに(「通訳案内の実務」)に関する筆記試験科目が追加されるとともに、全国通訳案内士に対して(定期的な研修)(登録研修機関が行う研修)の受講を義務づけることにより、(全国通訳案内士)の資格を継続して得るためには、(高いガイド能力)の維持・向上が求められることとなります。

さらに、今回の改正までに通訳案内士試験に合格し、(全国通訳案内士)として登録されている方については、別途、(観光庁)が実施する本研修を受講することにより、(「通訳案内の実務」)に関する知識を確認することになります。

この研修では、通訳案内の現場で必要な(「旅程管理や関係法令に関する基本的な知識」)や(「訪日外国人旅行者の国別、文化別の特徴」)、(「危機管理・災害発生時における適切な対応等に関する基礎的な知識」)の習得を内容としております。

以上